

# 南丹市

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

## 人口減少・少子化を見据えた部活動地域移行整備事業

### 事業の経過・背景・課題

- 市立中学校の生徒数が、令和5年度679名に対して令和11年度599名（-11.8%）と急激に減少。
- 団体スポーツの成立困難な部を持つ学校や、小規模校で生徒が望むスポーツができない例がある。
- 活動のための「場所・人」の確保と、生徒の移動手段及び地域指導者の確保が大きな課題である。

### 取組内容

交付実績額： 480 千円

- ・チームスポーツを対象にして複数校合同の「南丹市チーム」が結成できる条件整備を行った。
- ・今年度は、野球・サッカーで取り組んできた月1回程度の合同練習に、バレー・バスケを加えて同様の取組を行い、交流を深めた。
- ・顧問と連携して指導できる地域人材の確保に向けて、関係機関に趣旨説明を行い協力依頼を行った。
- ・各校の文化系部活動の実態調査を行い、運動部と同様の取組が行えるかについて検討を重ね、方向性を確認した。

※実施した一部を記載

#### <野球部の合同練習会>

○令和6年8月3日（土）於：園部スポーツ広場

○令和7年2月1日（土）於：園部スポーツ広場

#### <バスケ部の合同練習会>

○令和6年8月24日（土）於：八木中

○令和7年1月18日（土）於：園部中

#### <サッカー部の合同練習会>

○令和6年6月8日（土）於：園部中

○令和6年10月14日（月）於：八木中

#### <バレー部の合同練習会>

○令和6年12月21日（土）於：八木中

○令和7年3月8日（土）於：殿田中



▶合同練習の様子

### 事業の成果・今後の展望等

- ・チームスポーツにおける合同練習を通して、他校の生徒共に活気ある多様な、また専門的な練習が可能になり、生徒のモチベーションアップと顧問の負担軽減につながった。
- ・南丹市チームの合同練習を目標に、平日における自校での練習にも積極性が増し、集団スポーツを通じたコミュニケーション力やスポーツに親しむ態度の育成につながった。
- ・自校に入部したい部がない場合の対応について、陸上をモデルに合同練習などの取組を行う。
- ・市内にある高校や大学と連携を図り、指導者の確保とともに地域連携・地域移行につながる体制づくりを更に推進する。

問い合わせ先

南丹市教育委員会学校教育課（0771-68-0056）

# 南丹市

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

## 事業名

## 読書環境充実事業

### 事業の経過・背景・課題

国が策定した「第5次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」に基づき、読書離れが進む児童・生徒が魅力的な本と出合う機会を拡大するため、学校図書館の環境を整備し、子どもたちが本に親しむきっかけをつくる。

また、幼稚園においては、環境整備の一環として絵本室や各保育室の絵本コーナーの充実を図り、図書空間が安心でき居心地良い場として整備できることで子どもたちが絵本を通じて心動かされる絵本や物語と出会い、お話の楽しさや読み手の声の心地よさに気づき、心豊かな体験や語彙の獲得等へつながる。

### 取組内容

交付実績額： 2,869 千円

- 令和5年度から継続して、小学校はコンピュータールームを読書に親しむスペースや調べ学習、中学校は個別読書・学習できるスペースに改裝・整備し、子どもたちが本に親しむ環境整備を進めてきた。
- 幼稚園にも本に親しむスペースを新設し、リラックスできる場として空間づくり等を工夫し居心地の良い場として環境を整え、絵本を表紙置きにしたり、関連したグッズや自然物等で季節感を出したり興味関心を高める環境を整備した。
- 個別学習ブースについても、各中学校において活用機会の設定を行い、読書の充実、自習やAIドリル活用とあわせた活用を進めた。



### 事業の成果・今後の展望等

- 幼児・児童が絵本や読書に興味をもち、落ち着いた空間で読書を楽しんだり、学習したりできる空間を整備したことで、読書活動の活性化につなげることができた。
- 中学校では、個別学習ブースを設置したことに加え、各学校において生徒の実態に合わせた運用を図る中で、集中して学習できる環境を必要とする生徒が自ら学習に向かう機会が増加した。
- 今後持続的に活用を図るための、環境設定の工夫や取組について、各校園の情報を共有できる機会を研修・会議等の場を通じて確保し、さらなる読書活動の推進を図っていく。

### 問い合わせ先

南丹市教育委員会学校教育課 (0771-68-0055)

# 南丹市

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

## 事業名

## 学びの自律化・個別最適化事業

### 事業の経過・背景・課題

個別最適な学びを実現するため、その子に合った方法で目標を達成できるような指導を行うことが求められている。児童生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、教材や学習時間等の提供・設定を行う「学びの自律化・個別最適化」が必要だと考える。

### 取組内容

交付実績額： 3,693 千円

- ・習熟度によって問題が選択できる学習に取り組めるよう、1人1台学習用タブレット端末にAIドリル「すらら」を導入
- ・従来の一斉に与えられる課題に取り組む学習スタイルだけでなく、児童生徒のニーズに合わせた問題の選択・AIによる出題により、個に応じた学びが展開されるとともに、児童生徒が自分に合ったペースで個別の学習を進めた。



### 事業の成果・今後の展望等

- ・自分のペースで学ぶことができる学習時間を毎週の時程（朝・放課後学習など）に設定し、その時間にAIドリルに取り組んだ。採点結果から自分のつまずき箇所を明らかにさせ、根本理解につながる復習学習を徹底することで学力の定着を図ることができた。
- ・AIドリルをはじめとした学力向上の取組がシステム化され、効果的に活用できた学校では学力の伸びが見られた。
- ・今後も引き続き、AIドリルを活用した個別最適化学習を日々の授業や学習に効果的に位置づけ、児童生徒の主体的な学びを支える学習習慣化を図るとともに、次年度は取組実績を検証し、成果と課題を整理し、今後の保護者負担での運用について検討していく。

### 問い合わせ先

南丹市教育委員会学校教育課（0771-68-0055）

# 南丹市

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

## 事業名

## 小中学校における外国語教育推進事業

### 事業の経過・背景・課題

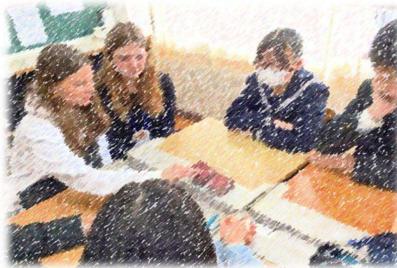
本市では、以前よりネイティブスピーカーや英語に堪能な地元人材をALTとして直接任用し、児童生徒が生きた外国語に親しむ機会を提供することで、外国語教育の推進を図ってきた。

小・中学校へのALT配置により担任を支援し授業の質を高めるとともに、中学校における英語検定料の一部補助を行うことで、学習意欲の向上と英語力の伸長につなげていく必要がある。

### 取組内容

交付実績額： 1,234 千円

- ・英語専科教員配置校以外の3小学校と4中学校にALT（外国語指導助手）を市の会計年度任用職員として配置した。
- ・中学生の英語検定料を1/3を上限に補助を行った。



### 事業の成果・今後の展望等

- ・ALTを手厚く配置することで、外国語に慣れ親しみ、学習への動機づけを高めることができるとともに、英検受験の推奨により、合格に向けた学習意欲の向上並びに英語の実力を客観的に把握することができた。
- ・令和6年度は、135名（昨年度比+11名）が英語検定を受験することができた。
- ・今後もALTを有効に活用し、英語の音声指導や外国の文化や行事、生活習慣、歴史等の説明などに関する学習活動の中で、ALTを有効に活用し、授業の質的向上を目指すとともに、国際理解教育の充実と合わせ、生きた英語を活用できる機会を確保していく。

### 問い合わせ先

南丹市教育委員会学校教育課 (0771-68-0055)

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

## 南丹市

### 外国につながりのある児童生徒支援事業

#### 事業の経過・背景・課題

昨年度の途中から、日本語の支援が必要な外国につながりのある児童生徒の転入が続き、児童生徒の学校生活への早期適応を促進するための母語支援員の配置が急務となった。

パキスタン、アルゼンチン、ネパール、中国と多様であり、いずれも学校と保護者が連携する際には、支援員によるサポートが必要な状況である。

#### 取組内容

交付実績額： - 千円 ※セット新規

(※) 本交付金を活用することで生じる余剰財源の1/2程度の額により  
教育環境の充実に資する事業を新たに実施・拡充

現在、2小学校1中学校に日本語の支援が必要な外国につながりのある児童生徒が在籍しており、それぞれの学校に週4時間ずつ母語支援員を市の会計年度任用職員として任用し配置を行う。

※4名の母語支援員を小学校3校、中学校1校に配置した。



#### 事業の成果・今後の展望等

- ・日本語指導が必要な児童生徒への支援として母語支援員を配置し、誰もが適切な支援を受けることができる体制を整えたことにより、学校生活全般が落ち着き、学習理解が一定程度図られた。
- ・今後も技能実習生等の増加により、市内の外国人人口は増加するとみられ、外国人児童生徒の転入についても同様に増加することが見込まれるため、安心して学校生活を送ることができる指導体制の確保が必要である。

#### 問い合わせ先

南丹市教育委員会学校教育課 (0771-68-0055)